

⑨ 養護教諭専門教科問題の解答について（注意）

1. 解答はすべて、別紙のマークシートに記入すること。
2. マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
3. 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。（マークシート右上の記入方法を参照）消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
4. 名前の記入 名前を記入すること。
5. 教科名の記入 教科名に「養護教諭」と記入すること。
6. 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
7. 解答の記入
 - ア. 小問の解答番号は1から40までの通し番号になっており、例えば、25番を

25

 のように表示してある。
 - イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
 - ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
 - エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

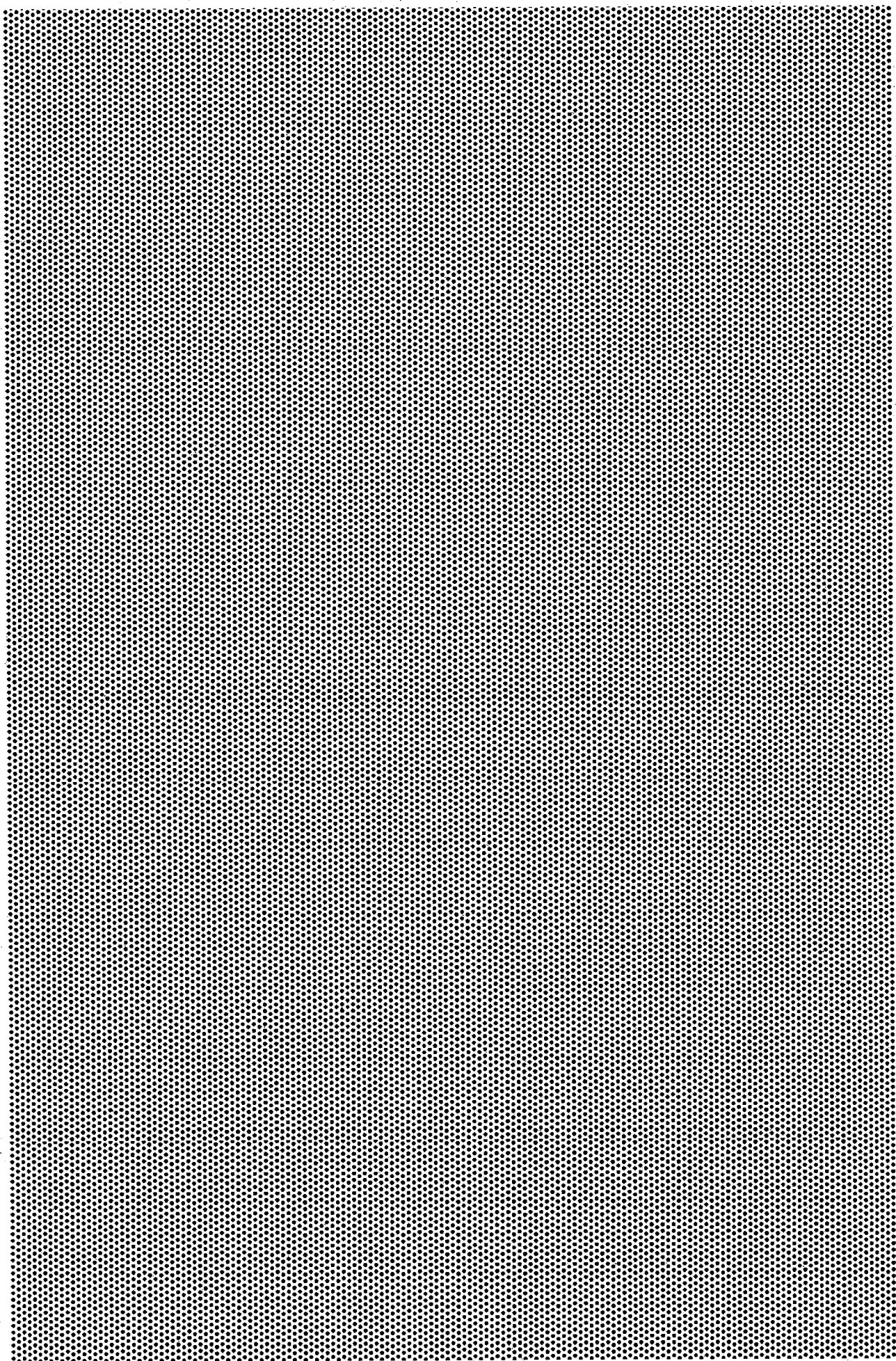
（マークシート記入例）

フリガナ	コウ バ クロウ	教科名	養護教諭
名 前	神戸太郎		

数字で記入……

受験番号				
1	2	3	4	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0

小問 番号	解答記入欄 1 - 25	小問 番号	解答記入欄 26 - 50	小問 番号	解答 51
1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	26	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	51	0 0 0 0
2	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	27	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	52	0 0 0 0
3	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	28	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	53	0 0 0 0
4	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	29	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	54	0 0 0 0
5	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	30	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	55	0 0 0 0
6	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	31	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	56	0 0 0 0
7	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	32	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	57	0 0 0 0
8	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	33	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	58	0 0 0 0
9	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	34	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	59	0 0 0 0
10	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	35	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	60	0 0 0 0
11	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	36	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	61	0 0 0 0



【1】学習指導要領について、次の問いに答えよ。

- (1) 次の文は、「小学校学習指導要領」(平成29年3月 文部科学省)「第9節 体育 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕2 内容」についての記述である。文中の下線部のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- (1) 心の健康について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 心の発達及び不安や①悩みへの対処について理解するとともに、簡単な②対処をすること。
- (7) 心は、いろいろな生活経験を通して、③年齢に伴って発達すること。
- (イ) 心と体には、④個人差があること。
- (ウ) 不安や①悩みへの対処には、大人や友達に相談する、⑤仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があること。
- イ 心の健康について、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。

1

- (2) 次の文は、「中学校学習指導要領」(平成29年3月 文部科学省)「第7節 保健体育 第2 各学年の目標及び内容〔保健分野〕2 内容」についての記述である。文中の()にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- (2) 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすること。
- (7) 身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時期やその程度には、個人差があること。
- (イ) 思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となること。
- (ウ) 知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、()などの影響を受けて発達すること。また、思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成がなされること。
- (エ) 精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があること。

- 【2】次の文は、「高等学校学習指導要領」（平成30年3月 文部科学省）「第2章 各学科に共通する各教科 第6節 保健体育 第2款 各科目 第2 保健 2 内容」についての記述である。文中の（ ）にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

(3) 生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 生涯を通じる健康について理解を深めること。

(7) 生涯の各段階における健康

生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていること。

(4) 労働と健康

労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があること。

イ 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する（ ）に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。

- ① 深刻な影響 ② 基準 ③ 個人の取組 ④ 社会的対策 ⑤ 原則や概念

3

- 【3】次の文は、「学校保健安全法に基づく児童生徒等の健康診断の実施に当たって留意すべき事項について（事務連絡）」（令和6年9月 文部科学省）別添「学校健康診断実施上の留意点」の記述の一部である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 学校における健康診断の役割の一つに「家庭における健康観察を踏まえて、学校生活を送るに当たり支障があるかどうかについて疾病をスクリーニングの上、健康状態を把握すること」がある。
- ② 「栄養状態」は学校健康診断における項目として学校保健安全法施行規則第6条に定められている。
- ③ 学校医は、診察方法や児童生徒等のプライバシー・心情への配慮について事前に学校と確認する。
- ④ 学校健康診断における項目の「11. その他の疾病及び異常の有無」の検査として検査項目を追加する場合は、学校医の責任で、その実施の目的等と、義務付けではないことを明示し、保護者等に周知した上で、理解と同意を得て実施する必要がある。
- ⑤ 学校医は学校健康診断を行うに当たっては、その意義・目的を理解するとともに、学校の意向を十分考慮したものとする。

4

- 【4】 次の文は、学校保健に関する法規・法令についての記述の一部である。文中の（ア）～（ウ）にあてはまる適切なものを、それぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

（1）学校保健安全法施行規則 第九条

第九条 学校においては、法第十三条第一項の健康診断を行つたときは、二十一日以内にその結果を幼児、児童又は生徒にあつては当該幼児、児童又は生徒及びその保護者（学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第十六条に規定する保護者をいう。）に、学生にあつては当該学生に通知するとともに、次の各号に定める基準により、法第十四条の措置をとらなければならない。

- 一 疾病の予防処置を行うこと。
- 二 必要な医療を受けるよう指示すること。
- 三 必要な検査、予防接種等を受けるよう指示すること。
- 四 療養のため必要な期間学校において学習しないよう指導すること。
- 五 （ア）について指導及び助言を行うこと。
- 六 学習又は運動・作業の軽減、停止、変更等を行うこと。
- 七 修学旅行、対外運動競技等への参加を制限すること。
- 八 机又は腰掛の調整、座席の変更及び学級の編制の適正を図ること。
- 九 その他発育、健康状態等に応じて適当な保健指導を行うこと。

- ① 特別支援学級への編入 ② 発育 ③ 言語障害 ④ 進学 ⑤ 貧血の有無

(2) 学校保健安全法施行規則 第二十二條

第二十二條 学校医の職務執行の準則は、次の各号に掲げるとおりとする。

- 一 学校保健計画及び学校安全計画の立案に参加すること。
- 二 学校の環境衛生の維持及び改善に関し、学校薬剤師と協力して、必要な指導及び助言を行うこと。
- 三 法第八条の健康相談に従事すること。
- 四 法第九条の保健指導に従事すること。
- 五 法第十三条の健康診断に従事すること。
- 六 法第十四条の疾病の予防処置に従事すること。
- 七 法第二章第四節の感染症の予防に関し必要な指導及び助言を行い、並びに学校における感染症及び食中毒の予防処置に従事すること。
- 八 校長の求めにより、救急処置に従事すること。
- 九 市町村の教育委員会又は学校の設置者の求めにより、法第十一条の健康診断又は法第十五条第一項の健康診断に従事すること。
- 十 前各号に掲げるもののほか、必要に応じ、(イ)に関する専門的事項に関する指導に従事すること。

- ① 医療又は検査等の措置 ② 職員の職務内容 ③ 安全点検
④ 学校における保健管理 ⑤ 医薬品

6

(3) 学校保健安全法 第五条

第五条 学校においては、児童生徒等及び職員の心身の健康の保持増進を図るため、児童生徒等及び職員の健康診断、環境衛生検査、(ウ) その他保健に関する事項について計画を策定し、これを実施しなければならない。

- ① 学校教育の円滑な実施 ② 安全の確保 ③ 児童生徒等に対する指導
④ 健康状態の日常的な観察 ⑤ 健康相談等

7

【5】 次の「学校環境衛生管理マニュアル」（平成30年度改訂 文部科学省）の学校環境衛生に関する記述について、次の問いに答えよ。

（1） 次の表は、「教室等の環境」における揮発性有機化合物の検査項目と方法に関する記述の一部である。表中の下線部のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

検査項目	方法
揮発性有機化合物	揮発性有機化合物の採取は、教室等内の① <u>温度</u> が高い時期に行い、吸引方式では② <u>1時間</u> で2回以上、③ <u>拡散方式</u> では8時間以上行う。
ア. ホルムアルデヒド	ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着/溶媒抽出法により採取し、高速液体クロマトグラフ法により測定する。
イ. トルエン	
ウ. キシレン	
エ. パラジクロロベンゼン	
オ. ④ <u>エチルベンゼン</u>	
カ. スチレン	固相吸着/溶媒抽出法、固相吸着/加熱脱着法、容器採取法のいずれかの方法により採取し、⑤ <u>ガスクロマトグラフー質量分析法</u> により測定する。

8

（2） 次の文は、「教室等の環境」における騒音の学校環境衛生基準についての記述の一部である。文中の（ア）にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

教室内の等価騒音レベルは、窓を閉じているときは LAeq（ア）dB（デシベル）以下、窓を開けているときは LAeq 55 dB 以下であることが望ましい。

① 25 ② 30 ③ 40 ④ 45 ⑤ 50

9

(3) 次の文は、「教室等の環境」における照度に係る学校環境衛生基準についての記述の一部である。文中の下線部のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

ア 教室及びそれに準ずる場所の照度の下限値は、300 lx（ルクス）とする。また、教室及び①黒板の照度は、②500 lx 以上であることが望ましい。

イ 教室及び①黒板のそれぞれの最大照度と最小照度の比は、③20：1を超えないこと。また、10：1を超えないことが望ましい。

ウ コンピュータを使用する教室等の机上の照度は、500 ～④1500 lx 程度が望ましい。

エ テレビやコンピュータ等の画面の垂直面照度は、⑤100 ～ 500 lx 程度が望ましい。

10

【6】 人体の構造と働きについて、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、「高等学校用 人体と看護」(平成31年1月 文部科学省)の、自律神経系についての記述の一部である。文中の(ア)にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

自律神経系は、生命維持に欠くことのできない呼吸・循環・代謝・体液の維持などを統制している。自律神経の最初中枢は、(ア)である。自律神経は交感神経系と副交感神経系に大別される。基本的に1つの臓器や器官は、交感神経系と副交感神経系の両方から支配を受け、かつ両者は拮抗的に働く場合が多い。

① 小脳 ② 大脳辺縁系 ③ 延髄 ④ 脳神経核 ⑤ 視床下部

11

(2) 次の文は、「高等学校用 人体と看護」(平成31年1月 文部科学省)の肺の働きについての記述の一部である。文中の(イ)にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

肺は胸腔内に左右1対あり、上部は細く、下部は(イ)形をしている。左右それぞれの肺には右心室から出た肺動脈を介して血液が供給され、肺におけるガス交換のあと、2本の肺静脈を介して心臓へ血液が運ばれる。

肺の内側面には気管支、肺動脈、肺静脈、リンパ管および神経が出入りする肺門がある。気管から左右に枝分かれした気管支は枝分かれをくり返し、細気管支、呼吸細気管支になって肺胞に至る。

- ① 急に広くなる ② 円錐状にひろがるような ③ 次第に細くなる
④ 内腔が広くかつ短い ⑤ 内腔が狭くかつ長い

12

(3) 次の文は、「高等学校用 人体と看護」(平成31年1月 文部科学省)の眼球の働きについての記述の一部である。文中の(ウ)～(オ)にあてはまるものとして適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

網膜は、光を受容する細胞と視神経を含み、約10層にわかれている。眼球に入った光は、網膜の各層を通過して、最も深層にある(ウ)に達する。視細胞には、明暗を感受する杆状体細胞と色を感受する錐状体細胞がある。錐状体細胞は、網膜中心窩に密集し、赤、緑、青の三種の受容細胞が混在しており、これら三色の組み合わせによって様々な(エ)が生じる。注視する物体と眼の距離に応じて、水晶体の屈折力を変えることを眼の(オ)という。

- | | | |
|-----------|--------|--------|
| ① ウ 視細胞層 | エ 感光色素 | オ 輻輳反射 |
| ② ウ 視神経乳頭 | エ 感光色素 | オ 遠近調節 |
| ③ ウ 視神経乳頭 | エ 色覚 | オ 遠近調節 |
| ④ ウ 視細胞層 | エ 色覚 | オ 遠近調節 |
| ⑤ ウ 視神経乳頭 | エ 色覚 | オ 輻輳反射 |

13

- 【7】 次の文は、「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引」（令和4年3月 公益財団法人 日本学校保健会）の脳脊髄液減少症についての記述である。文中の（ ア ）～（ ウ ）にあてはまるものとして適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

スポーツ外傷等の後に、脳脊髄液が漏れ出し減少することによって、（ ア ）、頸部痛、めまい、倦怠、不眠、記憶障害など様々な症状を呈する疾患である。

事故後の後遺症として（ イ ）に支障が生じているにもかかわらず、まわりの人から単に怠慢である等の批判を受け、十分な理解を得られなかったことなどの事例があるとの指摘もなされている。教職員等の脳脊髄液減少症に関する理解を深めるとともに、個々の児童生徒等の心身の状態に応じ適切に対応することが重要である。

治療法には、（ ウ ）がある。

- ① ~~ア 片頭痛~~ ~~イ ストレス対処能力~~
~~ウ ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）~~
- ② ア 起立性頭痛（立位によって増強する頭痛）などの頭痛 イ 通常の学校生活を送ること
ウ 認知行動療法
- ③ ア 片頭痛 イ 通常の学校生活を送ること
ウ 認知行動療法
- ④ ア 片頭痛 イ ストレス対処能力
ウ ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）
- ⑤ ア 起立性頭痛（立位によって増強する頭痛）などの頭痛 イ 通常の学校生活を送ること
ウ ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）

14

- 【8】 次の文は、「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引」（令和4年3月 公益財団法人 日本学校保健会）の甲状腺機能低下症についての記述である。文中の下線部のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

甲状腺機能低下症とは、血中の甲状腺ホルモン作用が必要よりも低下した状態である。甲状腺機能低下症による症状には、一般的に、①無気力、疲労感、むくみ、寒がり、②体重減少、動作緩慢、記憶力低下、便秘などがある。軽度の甲状腺機能低下症では③症状や所見に乏しいことも多い。また、甲状腺ホルモンは、④代謝の調節以外にも、妊娠の成立や維持、子供の成長や発達に重要なホルモンなので、甲状腺機能低下症では、月経異常や不妊、流早産や⑤妊娠高血圧症候群などと関連し、胎児や乳児あるいは小児期の成長や発達の遅れとも関連してくる。

15

【9】 人体の構造と働きについて、次の問いに答えよ。

(1) 次の図は、歯の構造を表したものである。図中の（ ア ）にあてはまる適切な名称を①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

- ① 歯槽骨 ② 歯髄 ③ 歯根膜 ④ セメント質 ⑤ 象牙質

16

(2) 次の図は、腎臓の構造を表したものである。図中の（ イ ）にあてはまる適切な名称を①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

- ① 糸球体 ② 腎動脈 ③ 腎盂 ④ 尿管 ⑤ 尿細管

17

- (3) 次の文は、胸郭の構造についての記述の一部である。文中の（ウ）にあてはまる適切なものを、①～⑤から選び、番号で答えよ。

胸郭は（ウ）個の胸椎，（ウ）対の肋骨，1個の胸骨，10対の肋軟骨から構成され，弾力性に富む。胸郭は，カゴのような形状で胸部内臓が入っている。胸椎と肋骨は2か所で関節を作り，肋軟骨を介して胸骨につく。

① 3 ② 5 ③ 7 ④ 12 ⑤ 14

18

- 【10】 次の文は、「児童生徒等の健康診断マニュアル」（平成27年度改訂 公益財団法人 日本学校保健会）の、児童生徒等の健康診断における成長曲線の活用についての記述をまとめたものである。下線部のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ・ 一人一人の児童生徒等特有の①成長特性を評価できる。
- ・ ②成長曲線パターンの変化は目で見て分かるので、児童生徒等及び保護者がその変化の様子を容易に理解できる。
- ・ 成長曲線基準図の中には上下7本の基準線があり、この基準線に上から③97、90、75、50、25、10、3の7つの数字がついている。これらの数字の単位はパーセンタイルである。パーセンタイルは日本語では「百分位」といわれ、集団を均等に百に分けたときに何番目に当たるかを示すものである。
- ・ 統計学的に言えば3パーセンタイル以下は異常に④低身長、97パーセンタイル以上は異常に高身長としている。⑤これらはすべて専門医療機関への受診を勧める。

19

- 【11】 次の文は、「児童生徒等の健康診断マニュアル」（平成27年度改訂 公益財団法人 日本学校保健会）に示された、定期健康診断における結核の有無の検査の方法に関する記述の一部である。下線部のうち、小学校・中学校における問診による情報の把握について、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ・ 本人の結核罹患歴
- ・ ①予防内服歴
- ・ 家族の②結核罹患歴
- ・ ③高まん延国での居住歴
- ・ 自覚症状、健康状態（特に、④2週間以上の長引く咳や痰）
- ・ ⑤胸部エックス線撮影の有無

20

【12】 次の文は、「児童生徒等の健康診断マニュアル」（平成27年度改訂 公益財団法人 日本学校保健会）に示された、「耳鼻咽喉疾患の有無」の検査の実際に関する記述の一部である。文中の（ ア ）にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ・額帯鏡、ヘッドライト、鼻鏡、耳鏡、舌圧子、絵図版（音声言語診断用）、側燈、トレイ等を準備する。
- ・器具の消毒については、（ ア ）が望ましい。
- ・検査には側燈あるいはLED等の光源を使用するが、場所全体がある程度暗いことが望ましい。
- ・医師の背部には暗幕をするなどして、外界からの光を遮る必要がある。
- ・音声言語異常を検出するため、児童生徒等に音声を発せさせるので、静かな場所が要求される。そのため検査中は私語を慎むように指導する。

- ① オートクレーブ滅菌 ② 煮沸消毒 ③ 手袋の着用
④ 熱水消毒 ⑤ 化学的消毒法

21

【13】 「学校において予防すべき感染症の解説」（令和5年度改訂 追補版 公益財団法人 日本学校保健会）の感染経路と予防の方法に関する記述について、次の問いに答えよ。

（1） 次の文は、感染経路についての記述の一部である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 空気感染では、感染している人が咳やくしゃみ、会話をした際に、口や鼻から飛散した小さな飛沫が乾燥し、その芯となっている病原体（飛沫核）が、感染性を保ったまま空気の流れによって拡散し、同じ空間にいる人もそれを吸い込んで感染する。
- ② 一般に市販されているマスク（不織布製またはガーゼのマスク）は、空気感染する感染症の予防策としては十分である。
- ③ 空気感染する感染症には、結核、麻疹、水痘等がある。
- ④ 飛沫感染は、唾液の水分等でコーティングされた、 $5\mu\text{m}$ より大きい粒子（ 1m 程度で落下し空中を浮遊し続けることはない）を介する感染である。
- ⑤ 飛沫感染では、感染している人が咳やくしゃみ、会話をした際に、口や鼻から病原体が多く含まれた小さな水滴が放出され、それを近くにいる人が吸い込むことで感染する。

22

(2) 次の文は、学校における感染症への対応についての記述の一部である。文中の下線部のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

糞便・血液・①体液・吐物等には②感染性病原体が含まれていることが多く、これらに接するときには、素手で扱うことを避け、手袋をすること、必要に応じてマスクや③ゴーグル等をつけること、接した後は④手洗いをより丁寧に行うこと等が、感染症予防の基本である。これらを⑤接触感染対策といい、従来は病院内の感染予防策として用いられてきたが、近年は病院内に限らず、学校を含め、感染の可能性があるものを取り扱う場合に必要な基本的な感染予防策とみなされるようになってきている。

23

【14】「学校において予防すべき感染症の解説」（令和5年度改訂 追補版 公益財団法人 日本学校保健会）の学校において予防すべき感染症に関する記述について、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、新型コロナウイルス感染症の登校（園）基準についての記述の一部である。文中の（ア）にあてはまる適切なものを、①～⑤から選び、番号で答えよ。

発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した（解熱薬を使用せずに解熱し、かつ、（ア）が改善傾向にある）後1日を経過するまで出席停止とする。

① 結膜充血 ② 咽頭発赤 ③ 呼吸器症状 ④ 嘔吐 ⑤ リンパ節の腫脹主要症状が消退

24

(2) 次の文は、百日咳についての記述の一部である。文中の下線部の記述のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

病原体	① <u>百日咳ウイルス</u>
潜伏期間	主に② <u>7～10日</u>
感染経路・感染期間	飛沫感染、③ <u>接触感染</u> 。感染期間は咳が出現してから④ <u>4週目頃まで</u> 。ただし適切な抗菌薬療法開始後5日程度で感染力は⑤ <u>著しく弱くなる</u> 。

25

【15】 救急処置について、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、「学校事故対応に関する指針【改訂版】」(令和6年3月 文部科学省)の学校事故発生直後の応急手当の実施についての記述の一部である。文中の(ア)～(エ)にあてはまるものとして適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ・ 事故が発生した場合には、(ア)は、被害児童生徒等の症状を確認し、近くにいる管理職や教職員、児童生徒等に応援の要請を行うとともに、被害児童生徒等の症状に応じて、速やかに、心肺蘇生、AEDの使用、気道異物除去、止血などの応急手当を行い、症状が重篤にならないようにする。
- ・ 救急車を手配するための119番は通報者を限定する必要がある(イ)。
- ・ 事故直後は、まずは(ウ)を行う。
- ・ 教職員は事故の状況や被害児童生徒等の様子に動揺せず、またその他の児童生徒等の(エ)ように対応する。

- | | | | |
|---|------------|------|-----------------------|
| ① | ア 養護教諭 | イ ない | ウ 管理職への報告 |
| | エ 不安を軽減する | | |
| ② | ア 第一発見者 | イ ある | ウ 管理職への報告 |
| | エ 情報の共有を図る | | |
| ③ | ア 養護教諭 | イ ある | ウ 管理職への報告 |
| | エ 不安を軽減する | | |
| ④ | ア 第一発見者 | イ ない | ウ 被害児童生徒等の医学的対応(応急手当) |
| | エ 不安を軽減する | | |
| ⑤ | ア 第一発見者 | イ ある | ウ 被害児童生徒等の医学的対応(応急手当) |
| | エ 情報の共有を図る | | |

(2) 次の文は、「熱中症環境保健マニュアル2022」(令和4年3月 環境省)の熱中症を疑ったときの現場での応急処置についての記述の一部である。文中の(オ)～(キ)にあてはまるものとして適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ・大量の発汗があった場合には、汗で失われた塩分も適切に補える経口補水液やスポーツドリンク等が最適です。食塩水(水1ℓに(オ)gの食塩)も有効です。
- ・(カ)は、塩分を含め点滴で補う必要があるので、緊急で医療機関に搬送することが最優先の対処方法です。
- ・「呼びかけや刺激に対する反応がおかしい」、「答えがない(意識障害がある)」時には誤って水分が気道に流れ込む可能性があります。また「吐き気を訴える」ないし「吐く」という症状は、すでに(キ)が鈍っている証拠です。

- | | | | | | | |
|---|---|---------|---|-----------------|---|-------|
| ① | オ | 1～2 | カ | 自力で水分の摂取ができないとき | キ | 胃腸の動き |
| ② | オ | 1～2 | カ | 高齢者 | キ | 体温調節 |
| ③ | オ | 0.1～0.2 | カ | 自力で水分の摂取ができないとき | キ | 胃腸の働き |
| ④ | オ | 0.1～0.2 | カ | 高齢者 | キ | 胃腸の働き |
| ⑤ | オ | 1～2 | カ | 自力で水分の摂取ができないとき | キ | 体温調節 |

27

(3) 次の文は、「スポーツ事故防止ハンドブック(解説編)」(令和2年12月 独立行政法人日本スポーツ振興センター)の脳震盪についての記述の一部である。文中の(ク)～(サ)にあてはまるものとして適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ・脳振盪は脳の損傷であり、(ク)を伴う場合と伴わない場合があります。さらに、自覚症状として頭痛、めまい、吐き気、視力・視野障害、耳鳴り等、(ケ)としての失見当識(対戦相手、試合の点数が分からない)や記憶・判断力・集中力低下、興奮、(コ)、他覚症状として(サ)、多弁等多様であることを理解しておく必要があります。

- | | | | | | | | | |
|---|---|------|---|--------|---|------|---|------|
| ① | ク | 頸髄損傷 | ケ | 頭蓋内出血 | コ | 感情変化 | サ | ふらつき |
| ② | ク | 意識消失 | ケ | 認知機能障害 | コ | 高体温 | サ | 運動麻痺 |
| ③ | ク | 頸髄損傷 | ケ | 頭蓋内出血 | コ | 感情変化 | サ | 運動麻痺 |
| ④ | ク | 意識消失 | ケ | 認知機能障害 | コ | 感情変化 | サ | ふらつき |
| ⑤ | ク | 頸髄損傷 | ケ | 認知機能障害 | コ | 高体温 | サ | 運動麻痺 |

28

(4) 次の文は、「改訂 6 版 救急蘇生法の指針2020市民用」(令和 3 年 9 月 ・一般財団法人日本救急医療財団)の記述の一部である。文中の(シ)にあてはまる適切なものを、①～⑤から選び、番号で答えよ。

突然の心停止直後にはしゃくりあげるような途切れ途切れの呼吸がみられることも少なくありません。これは「(シ)」と呼ばれるもので、「普段どおりの呼吸」ではありません。ただちに胸骨圧迫を開始してください。

- ① 努力呼吸 ② 起坐呼吸 ③ 死戦期呼吸 ④ 頻呼吸 ⑤ 呼吸不全

29

【16】「薬物乱用防止教室マニュアル」(令和 5 年度改訂 公益財団法人 日本学校保健会)の記述について、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、「薬物乱用とは」についての記述である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 麻薬や覚醒剤、大麻は、法でその使用自体が規制されていることから、その使用は薬物乱用である。
② 18歳未満の者の飲酒や喫煙は禁止されており、18歳未満の者の使用は法に反することから薬物乱用である。
③ 医薬品も、例えば、睡眠薬を睡眠薬遊びのために使うことは、目的の逸脱であり、薬物乱用である。
④ 効きがよくないという自己判断で用法(頻度を含む)、用量に関して、医師、薬剤師又は医薬品の説明文書の指示に従わないことも、指示に対する逸脱という点から薬物乱用である。
⑤ 薬物乱用とは、薬物を社会的許容から逸脱した目的や方法で自己使用することであり、乱用は、回数の問題ではなく、1回でも乱用である。

30

- (2) 次の文は、「薬物乱用防止の基本的な考え方」についての記述の一部である。文中の下線部のうち、適切なものを、①～⑤から選び、番号で答えよ。

10代は心身の発育・発達過程にあるため薬物の影響が①成人より軽微なかたちで現れる。この年齢期は、薬物乱用のきっかけが起りやすい時期であるとともに、学校教育に関わるいわゆる学齢期に重なる。

一次予防では健康教育と社会環境の改善がその具体的な手段となる。学校は②6歳から15歳のほとんど全ての児童生徒を対象とし、その発達段階に対応して系統的な指導を行うことができる場である。このような学校の特性から一次予防が最も重要である薬物乱用防止に対して学校教育に期待が寄せられている。

学校教育はハイリスクグループのみを対象とするのではなく、学校や学年あるいは学級③全員の児童生徒を対象とする。したがって、学校における健康教育では薬物乱用の問題を広い視野で捉える必要がある。健康教育では児童生徒が身近な生活における健康に関する知識を身に付けることや、④必要な情報を自ら収集し、適切に表現することを行い、⑤積極的に健康な生活を考察することのできる資質・能力を育成することが目標となり、この目標の達成が薬物乱用問題の本質的解決につながる。

31

- 【17】「学校における薬品管理マニュアル」（令和4年度改訂 追補版 公益財団法人 日本学校保健会）の記述について、次の問いに答えよ。

- (1) 次の文は、学校で医療用医薬品を預かることについての記述の一部である。文中の下線部のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

学校で医療用医薬品を預かることについて法令上の規制は①ありません。児童生徒本人の保管・管理が原則となりますが、以下のような場合は、②主治医等の指導により、学校で医療用医薬品を預かることも考えられます。

- ③緊急やむを得ない措置として投与する医療用医薬品
- 解熱鎮痛剤の坐薬や水薬のように④冷所保管などの保管条件がある医療用医薬品
- 児童生徒本人による保管・管理が⑤困難な場合

32

(2) 次の文は、要指導医薬品・一般用医薬品の取扱いに関する学校における共通理解についての記述の一部である。文中の下線部のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

学校で児童生徒に要指導医薬品及び①第一類医薬品を提供することは適当ではありません。また、一般用医薬品を購入する場合には、可能な限り、安全性の高い②第二類医薬品を選ぶようにします。

学校は、原則として一般用医薬品を児童生徒に③提供する場ではないことを前提とし、前年度までの児童生徒の傷病の状況、それに伴う一般用医薬品の使用状況及び学校の実状などを踏まえて、④医療機関を受診させるまでの処置、保護者等に引き渡すまでの処置又は一般の医療の⑤対象とならない程度の軽微な傷病の処置などの学校における救急処置の範囲を確認し、一般用医薬品の取扱いについて検討することが必要です。

33

【18】 次の文は、「保健教育における個別指導の考え方、進め方」（令和6年3月 公益財団法人 日本学校保健会）の保健教育における個別指導についての記述の一部である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 保健教育での個別指導とは、学習指導要領に基づく保健教育の着実な実施の下で、児童生徒一人一人の健康に関する興味や関心、発育・発達や保健の学習課題等を踏まえた個別の指導と言える。
- ② 実施に当たっては、管理職のみならず全ての教職員の共通理解と協力による指導体制を確保することが不可欠であり、学校保健計画や学校安全計画に位置付けることが望まれる。
- ③ 本資料で取り上げる個別指導は、授業などの集団指導においてその場で個別の生徒に行う指導（支援・助言）である。
- ④ 保護者の十分な理解と連携を図る必要がある。
- ⑤ 集団指導で教えるばかりでなく、集団指導で学習した知識を補完したり、より発展させたり、また配慮を必要とする子供に寄り添ったりすることがより細やかにできる個別指導を充実することは極めて有意義と思われる。

34

【19】 次の文は、「学校事故対応に関する指針【改訂版】」（令和6年3月 文部科学省）の学校事故対応における児童生徒等の心のケアに関する記述の一部である。文中の（ア）～（エ）にあてはまるものとして適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- 災害等に遭遇すると、恐怖や（ア）などの心理的ストレスによって、心の症状だけでなく、腹痛や頭痛、眠れない、（イ）などの身体の症状も現れやすいことが児童生徒等のストレス症状の特徴であることを理解する。
- 災害や事件・事故発生時における児童生徒等のストレス反応は誰でも起こり得ることであり、ストレスが強い場合には、心身に現れる症状は悪化せず数日以内に消失することが多いが、激しいストレスにさらされた場合は、「（ウ）」や「（エ）」を発症することがある。

- | | | |
|-------------------|--------|-----------------|
| ① ア 喪失体験 | イ 食欲不振 | ウ 急性ストレス障害（ASD） |
| エ 外傷後ストレス障害（PTSD） | | |
| ② ア ショック | イ 食欲不振 | ウ トラウマ |
| エ 外傷後ストレス障害（PTSD） | | |
| ③ ア ショック | イ てんかん | ウ トラウマ |
| エ 外傷後ストレス障害（PTSD） | | |
| ④ ア 喪失体験 | イ 食欲不振 | ウ 急性ストレス障害（ASD） |
| エ 心的外傷性悲嘆 | | |
| ⑤ ア 喪失体験 | イ てんかん | ウ トラウマ |
| エ 心的外傷性悲嘆 | | |

【20】「月経の正しい理解とその対応」（令和7年3月 公益財団法人 日本学校保健会）の記述について、次の問いに答えよ。

（1）下記の事例の生徒への保健指導の内容として、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

＜中学校3年 女子からの相談＞

本生徒は肥満度-24%で、やせ型である。

女子サッカーチームに所属し、放課後にほぼ毎日、激しいサッカー練習に参加している。

前回の月経より2か月間、月経がなく、心配していると相談があった。

- ① やせすぎや激しいスポーツにより、無月経になることがあります。
- ② 無月経が続くと骨粗しょう症や骨折のリスクが高くなります。
- ③ 無月経が続くとアスリートでは、摂食障害のリスクが高くなります。
- ④ 無月経が続くと将来的な不妊症の原因になることがあります。
- ⑤ 月経が3か月以上ない場合は、家族や養護教諭などに相談するとともに、産婦人科を受診することも検討しましょう。

36

（2）次の文は、女性ホルモンと月経に関する記述の一部である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 女性は、女性ホルモンの変動によって、身体や心に様々な変化が起こります
- ② 月経周期は、主に女性ホルモンの「エストロゲン（卵胞ホルモン）」と「プロゲステロン（黄体ホルモン）」の影響を受けています。
- ③ エストロゲン（卵胞ホルモン）は、主に妊娠を成立・維持させるホルモンです。
- ④ 基礎体温とは、生命を維持するのに必要最小限のエネルギーしか消費していない安静時の体温です。
- ⑤ 月経周期の中旬頃に排卵があり、排卵を境に、月経周期は低温期（卵胞期）から高温期（黄体期）になります。

37

(3) 次の文は、月経に伴う身体や心の症状についての記述の一部である。文中の下線部のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ・月経痛が強い場合は産婦人科を受診しましょう。①子宮内膜症や子宮筋腫などの病気が原因の場合もあります。
- ・月経開始の3～10日くらい前から、②下腹部痛などの身体的症状や、イライラ、怒りっぽくなるなどの心の症状が現れるものを「③月経困難症」といい、その症状は④個人差があります。
- ・症状が現れる時期は③月経困難症と同じですが、あせり、不安感、涙が出るなどの心の症状が強くあらわれ、日常生活に支障をきたす場合は「⑤月経前不快気分障害 (PMDD)」の可能性もあります。

【21】 心の健康や精神疾患について、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、「精神疾患に関する指導参考資料」(令和3年3月 公益財団法人 日本学校保健会)のうつ病についての記述である。文中の下線部のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

①気分障害、感情障害などと呼ばれることもある。うつ病では、(1)②抑うつ気分、興味や喜びの喪失、自責感といった感情の障害、(2)③幻聴、注意や集中力の低下、自信の喪失や自己評価の低下、(3)頭が回転しない、思考制止などの思考の障害、(4)易疲労性、食欲低下や④睡眠障害などの身体症状があり、時には希死念慮や、症状の日内変動も認められる。原因は明らかではないが、神経学的にはモノアミン仮説、視床下部―脳下垂体―副腎系仮説、神経細胞新生仮説などがあり、病前性格や遺伝的素因も関係する。治療は、休養、精神療法、薬物療法などがある。一方、気分が高揚し、活動性が亢進した状態を⑤躁状態という。うつ状態と⑤躁状態と両者を繰り返すものを躁うつ病と呼び区別される。

39

(2) 次の事例への教師の対応の留意点について、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

【事例】 中学2年生 女子

本生徒は、中学2年の冬頃から成績が下がり始め、それまで打ち込んでいた部活動にも興味を失った様子で、身なりや行動も投げやりな態度が目立つようになった。ある日、体調を崩して保健室に来室した際には、自傷行為をくり返していたことを本人が養護教諭に打ち明け、自殺をほのめかすような言動があったが、「秘密にして欲しい」と言った。

- ① 自殺の危険の高い子どもをひとりで抱えこまないことが大切である。
- ② 自殺の危険の高い子どもとの間には継続的な信頼関係を築くことが大切である。
- ③ 「死にたい」という気持ちについて、率直に尋ねてはいけない。
- ④ 「秘密にしてほしい」という子どもへの対応では、子どものつらい気持ちを尊重しながら、保護者にどう伝えるかを含めて、他の教師とも相談する。
- ⑤ 自傷行為には、本人の苦しい気持ちを認めるような姿勢で関わる。

40

